

「人づくりの島」を目指して！

安田そうへい**32歳、無所属、実行派！**しーまブログ・ツイッター・
フェイスブックで情報発信中！**志通信**
-第3号-

皆様、いつもお世話になっております。奄美地方は6月末に梅雨明けし、以来
 厳しい暑さが続いておりますが、お変わりございませんでしょうか。

奄美市も新年度開始から3ヵ月余りが経ち、今年2回目の市議会定例会、通称「6月議
 会」が終了しましたので、さらに各種政策や事業が進められていくことと存じます。私自身、
 年間4回の定例会の中でも比較的期間が短いとされる6月議会だからこそ、奄美市が抱える
 難題について、行政当局としっかりと議論をする「熟議の議会」となることを心掛け、でき
 る限り多くの提言・提案をいたしました。

奄美市の政治・行政の動きが、市民の皆様十分に伝わっているか。常に自問自答しなが
 ら仕事に取り組んでいる毎日です。新しい時代の政治・行政を、市民の皆様とともに創ってい
 きたい。そのための小さな一歩としての『志通信』、皆様からのご意見・ご感想をお聴かせ
 くださいますよう、お願いいたします。

— 平成24年4～7月上旬の主な議員活動 —

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 4/4 住用町囀託員会(区長会) | 5/15 議会だより編集委員会 |
| ・5/1、7/2も参加・傍聴 | 16 大和村議選視察 |
| 5 笠利町駐在員会(区長会) | 21 全員協議会、議会運営委員会 |
| ・7/3も参加・傍聴 | 古見方崎原集落にて活動報告会 |
| 6 奄美小学校入学式 | 24 議員大会・加計呂麻視察 |
| 8 奄美市ICTプラザかさり開所式 | 25 奄美群島市町村議会議員大会 |
| 12 A i A i ひろばオープニングセレモニー | 29 柿赤忌(谷村唯一郎先生を偲ぶ会) |
| 13 奄美情報処理専門学校入学式 | 6/12 会派代表者会 |
| 14 企業での活動報告会 | 13 議運、奄振法勉強会(安栖宏隆氏) |
| ・5/21、22は企業朝礼に参加 | 18 平成24年第2回定例会開会 |
| 19 「指定管理者制度検証特別委員会」 | 19～21 一般質問(21日の2番目に登壇) |
| ・5/21、6/8も開催 | 25 本会議・総括質疑 |
| 奄美テレビ「ほっとけトーク」出演 | 26、27 各委員会審査 |
| ・「ポイ捨て防止条例」について | (文教厚生委員会に所属) |
| 20 活動報告会@金久分館 | 26 議員研修(開発基金澤田正晴氏) |
| 21 活動報告会@四谷分館 | 27「中心市街地まちづくり事業検証特別委」 |
| 24～27 文教厚生委員会・行政視察 | 28～7/5 報告書整理・議案等調査 |
| ・沖縄県那覇市、名護市、 | 6 最終本会議(平成24年度一般会計 |
| 国頭村、南風原町、浦添市へ | 補正予算等議案22件を可決) |

その他毎日の活動についてはしーまブログ『「志」の島へ』にて情報発信中です！

— 平成24年第2回定例会の主な決定事項 —

○平成24年度一般会計補正予算で1.9億円を追加。総額は305.8億円に。

-主な歳出内容としては、

・3つの公共施設を防災拠点として整備改修：6,200万円

【朝戸の営農センター、長浜の奄美振興会館、住用東城の奄美体験交流館】

・住宅リフォーム助成金【50万円以上の工事に10万円まで助成】：2,000万円

・青年就農給付金【45歳未満等の条件あり、年間150万円給付】：1,800万円

・観光案内情報板【空港、大浜海岸、金作原、住用東城の4カ所】：1,000万円

・大島工業高校跡地利用のための運営管理費【備品購入、人件費等】：約700万円

-安田の所感：国の制度を受けた青年就農給付金や、市独自の住宅リフォーム助成金は必要とする皆様に大きな効果をもたらすと思います。ぜひご活用ください。また、貴重な予算を投じて整備・運営する防災拠点、観光案内情報板、大島工業高校跡地です。市民の皆様にご周知・ご理解を頂き、大いに活用して頂きますよう、切望いたします。

— 一般質問 —

「熟議の議会」を目指して、奄美市の抱える難題①防災対策・危機管理、②人口減少対策、③景気・経済・雇用対策の3分野について質問・論議をいたしました。主な内容は以下に。

①防災対策・危機管理

安田：防災行政無線デジタル化の進捗状況・今後の見通しは？

行政：今年度は電波伝搬調査や実施設計を行い、来年度に笠利・住用地区から着手、27年度までに名瀬地区も改修する。難聴地域の対策もあわせて検討する。

安田：今年度の防災訓練・図上訓練の実施計画は？

行政：市の防災訓練は8月26日(日)を予定。図上訓練は自治会や集落会から出前講座の要望を受けた後、名瀬測候所と日程調整をして実施したい。

②人口減少対策

安田：人口減少対策で市が力を入れて取り組んでいる事業は？

行政：UIターン者優先の定住促進住宅を整備し、これまで10世帯33名を受入れた。年百件程度の間合せに対し、職・住の情報を届ける等きめ細かな対応をしたい。

③景気・経済・雇用対策

安田：市内の事業者へ「地域雇用サポート事業」を有効に活用して頂くには？

行政：事業者への個別訪問も含め、広く周知を図りたい。また高卒新規雇用者の早期離職を防ぐ支援も行いたい。

◎その他安田からの要望・提案

- ・災害避難所・高台・津波避難ビルの積極的な周知と分かりやすい表示の工夫推進。
- ・地域・集落を巻き込んだ人口誘致策の推進(プロジェクトチームをつくり、公営住宅のトイレ水洗化や農地の宅地転用を許可する等、地域の実情に合わせた取組をする)。
- ・「親子留学制度」「里親留学制度」等、小中学校の児童生徒確保策の早期展開。
- ・「特色ある地域づくり」の推進と情報発信(ゴミ拾いチャレンジデーの実施など)。
- ・「産業活性化推進員」の成果の見える化と、東京事務所を活用した人口誘致等々。

- 文教厚生委員会 所管事務調査報告 -



4月24日から27日まで、3泊4日の行程で、沖縄県の5市町村5つの訪問先に伺い、所管事務調査(行政視察)を行いました。以下、調査概要を報告します(27日は帰省のみ)。

- 24日(火): 沖縄空港到着、那覇市役所訪問、名護市へ移動・宿泊
 - 那覇市役所: 「病児・病後児保育事業」、「つどいの広場事業」等子育て支援策を調査
 - ・那覇市は人口31万人。毎年3400名増加。0~5歳児は2万人。待機児童400名。
 - ・病児・病後児保育事業は平成6年からモデル事業として実施。現在、市内3カ所で行われている。総事業費2,850万円(奄美市は昨年度より実施、総事業費687万円)。
 - ・「つどいの広場事業」は在宅で子育てをする親を支援する事業。転勤者・1人暮らし者の若い世帯が多い実情に合わせて。育児相談や仲間づくり等、若い母親を支援。
 - 25日(水): 名護市沖縄愛楽園・国頭村やんばる野生生物保護センター訪問、那覇市へ
 - 沖縄愛楽園(国立ハンセン病療養所): 全国に先駆けて実施した一般入院診療を調査
 - ・奄美和光園と比較して、入所者数は5倍(愛楽園223名、和光園44名、直近データ)。
 - ・他の療養所と比べて退所者数が多く、入院診療も主に退所者の要望から。後遺症等専門的な治療が必要で、長い時間がかかるため、入院診療をするニーズが高かった。
 - ・奄美和光園も、一般入院診療に向けて、医師の確保と地元医療機関との調整が課題。
 - やんばる野生生物保護センター: 世界自然遺産登録に向けた取組を調査
 - ・漢字で書くと「山原」。与那覇岳等500m超の山々を抱える地域。ヤンバルクイナ、ケナガネズミ、ヤンバルテナガコガネ、ノグチゲラ等希少生物の宝庫。
 - ・奄美諸島と同様、まずは国立公園化を目指し、計画策定作業中。
 - ・盛んな地元林業との兼ね合いが課題。地域住民の環境保全の機運が乏しいことも奄美諸島と共通する課題といえる。ポイ捨て防止条例等は未整備(奄美市は整備済)。
 - 26日(木): 南風原町の県立総合精神保健福祉センター・浦添市役所訪問、那覇市宿泊
 - 県立総合精神保健福祉センター: うつ病デイケア・引きこもり相談対策を調査
 - ・全国で初めて、うつ病治療に集団療法を導入(以前は投薬や個別カウンセリングが中心)。
 - ・孤立・孤独感を弱め、共感・つながり・仲間意識をもたせることで大きな効果を上げる。
 - ・うつ病は2020年、国内の総疾病の第2位になると予測されている。自殺者数を減らすためにも、うつ病に対する周囲の理解と治療法の改善が求められている。
 - 浦添市役所: 英語教育特区について調査
 - ・平成8年から小学校に英語教育を導入、16年より特区制度開始。
 - ・小中学校ともに聞く・話すの音声重視。中学生の学力も県平均を上回っている。
 - ・特区制度運営のための総事業費は約4千万円。歳入には「対米請求権」等を活用。

◎会計報告(一人当りの出張旅費)

航空券代(奄美-沖縄往復、那覇のホテル2泊分パック) 46,900円

－ その他議会に関するお知らせ －

○「川内原発増設計画の白紙撤回などを求める陳情・意見書」について

- 今回採択された請願・陳情5件のうちの1件で、奄美市議会からの意見書として、鹿児島県に提出されます。県内19市の中でも先進的な事例といえます。
- 内容は、川内原発3号機増設計画を白紙撤回すること、1・2号機を計画的に廃炉にすることなどが盛り込まれています。原発に依存しなくても営むことができる社会づくりに向けて、奄美からも知恵やアイデアを出していきましょう！

○「中心市街地まちづくり事業検証特別委員会 報告書」について

- 昨年の12月議会で設置された本委員会が報告書をまとめ、行政に提出しました。
- 内容は、市民や関係者との意見交換を踏まえて、商店街の切迫した状況についての行政側の認識不足や市民と行政との温度差を指摘した上で、今後は両者間の徹底した意見交換と説明を求め、またスピード感をもって取組むことを要請しました。

○次回の「平成24年第3回定例会」は9月ごろ開催予定

- 本格的な準備は、8月中旬頃から始まると思われれます。市民の皆様からのお声を沢山集めて、9月議会に生かしていきたいと思えます。私にご意見をぶつけてください！
- 奄美市議会では、8月上旬の奄美まつりでの舟こぎ競争やパレードに参加します。また今後私も、朝の辻立ちを継続して参ります。皆様に役立ってこそその市議会議員です。お見かけの際には、お気軽にお声掛けをよろしくお願いいたします！

－ 安田そうへいからののお知らせ －

1. 活動報告会を開催いたします！

- ①8月18日(土)午後6時～8時 金久分館2階和室(長浜町社協となり)
 - ②8月19日(日)午後6時～8時 四谷分館2階和室(古田町マリア教会ななめ向かい)
- 内容は、活動報告、皆様との意見交換。入場無料、お気軽にご参加ください！
また、出張活動報告もいたします。個人・団体等を問いません。趣旨・目的を確認させて頂いた上で、日程を調整の上、こちらから伺います。
※全ての疑問・質問に即答できる訳ではありません。できる限りの「情報開示」を意識して進め、市民の皆様と奄美市づくりについての建設的な意見交換をさせていただきたく存じます。趣旨ご理解の上、ご参加・お問合せください。

2. 本チラシを配布するボランティアの方を募集しています！

本チラシは私自身を含め、有志のボランティアで配布しています。少しでも多くの皆様にお届けするため、賛同して頂ける方にご協力をよろしくお願いいたします。
安田そうへい連絡先：奄美市名瀬古田町5-7

電話54-7621/FAX54-7620/Eメールsohei@mskj.or.jp

「志通信」バックナンバーご入用の方も、こちらまでご連絡ください。

奄美市を良くするためのお知恵・アイデアもどしどしお願いいたします！！